

稼働率

白糠町

向上を目指す

唯一の特養として



社会福祉法人 孝仁会

特別養護老人ホーム 清和園

生活相談主任 磯辺 涼

ショートステイ相談員 西田 博戸

施設長 星川 学

昭和59年 白糠町立特別養護老人ホームとして運営開始（54床）

平成20年 社会福祉法人孝仁会として運営開始

平成28年 新築移転（80床）

長期入所	72床
ショートステイ	8床
デイサービス	30名

長期入所 生活相談員	1名
ショートステイ 生活相談員	1名
ケアマネジャー	1名

看護職員	5名
介護職員（非常勤含む）	39名

白糠町唯一の特別養護老人ホーム【清和園】

介護

清和園（長期入所・ショートステイ・デイサービス）

グループホーム（孝仁会）

地域密着型デイサービス（白糠町社会福祉協議会）

訪問介護（白糠町社会福祉協議会）

訪問看護（北海道総合在宅ケア事業団）

医療機関

診療所(内科)(3ヶ所)

整形外科(1ヶ所)

歯科医院(3ヶ所)

ケアマネジャー

地域包括支援センター（白糠町役場）

居宅介護支援事業所（白糠町社会福祉協議会）

居宅介護支援事業所（個人経営）

人口 7,191人（2023/7/31）



- ・ 介護サービスの量と種類が少ない
- ・ 老老介護、認認介護、独居高齢者
- ・ 古い劣化した住宅

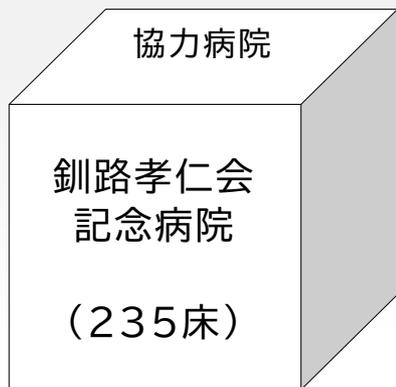
※しかし…

緊急時の対応能力がない

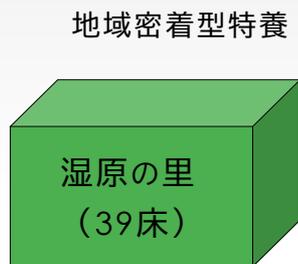
孝仁会グループ 概要

(平成20年法人開設)

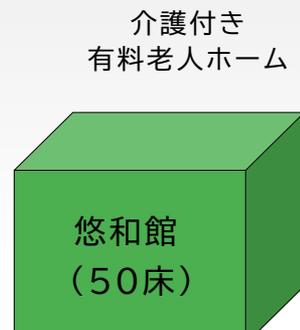
釧路市愛国



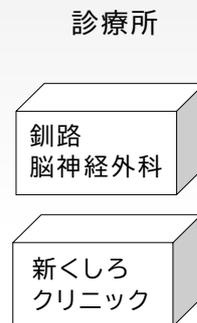
平成23年開設



平成26年開設



平成26年開設

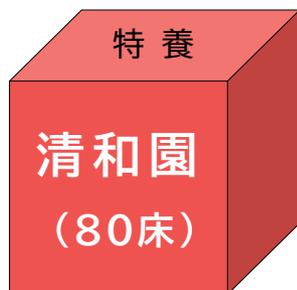


歴史が浅い法人 → **旗艦施設**の稼働率が重要

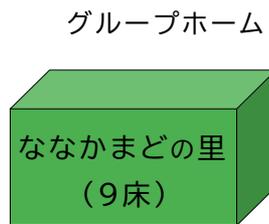
釧路西部地区



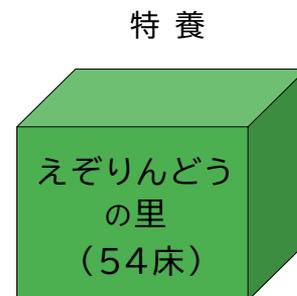
釧路市星が浦



白糠町
平成28年新築移転



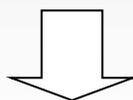
白糠町西庶路
平成21年開設



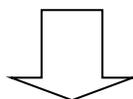
釧路市音別町
平成20年開設

稼働率向上への道のり

稼働率向上プロジェクト 開始期

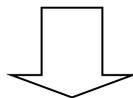


介護-看護-相談員ケアマネ 混乱期

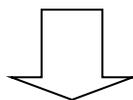


協業試行錯誤期

相談業務の改善



安定した稼働率と信頼される施設へ



ベッド稼働率の推移



※ポイントはショートステイ

■ 令和元年度(2019) ■ 令和2年度(2020) ■ 令和3年度(2021) ■ 令和4年度(2022)

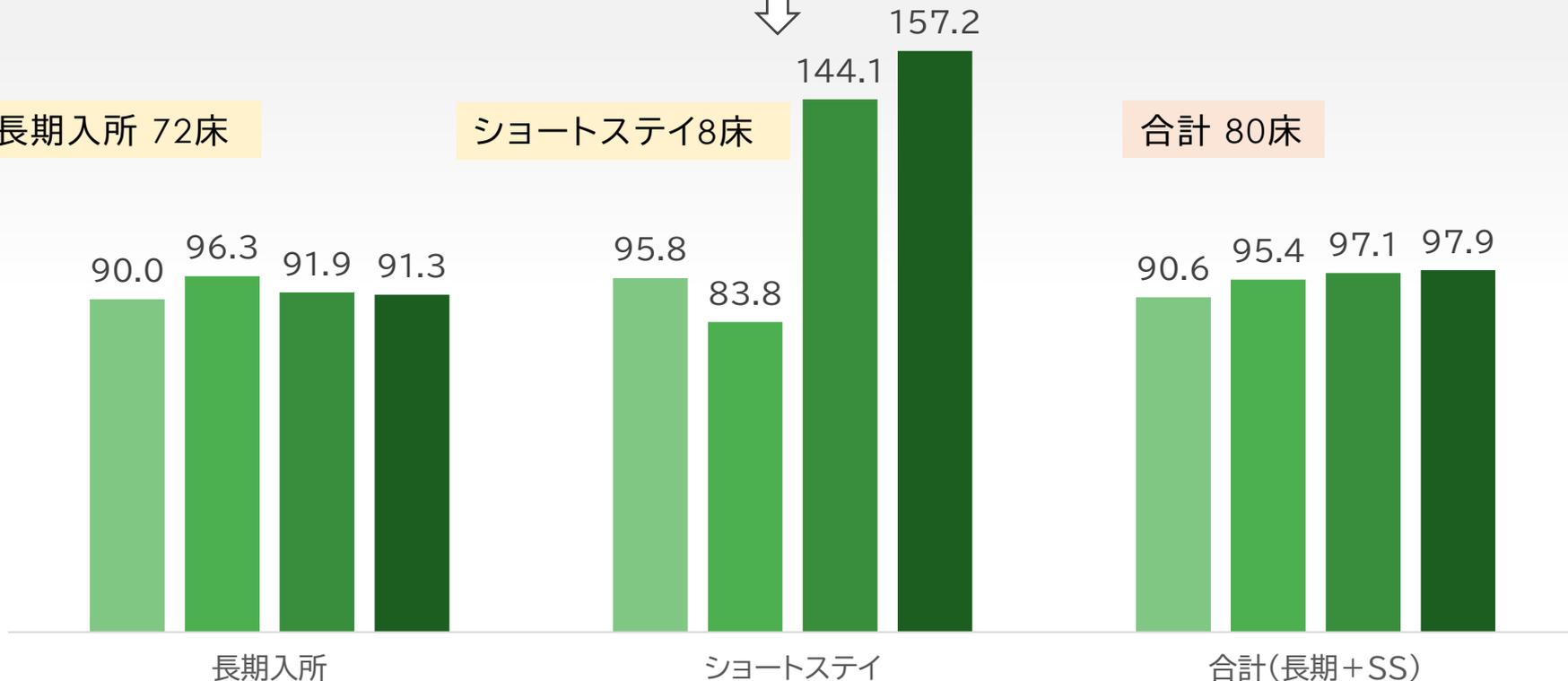
プロジェクト開始



長期入所 72床

ショートステイ8床

合計 80床



$$\text{ベッド稼働率(\%)} = \frac{\text{実利用者(入所者、利用者)の数}}{\text{定員数(ベッドの数)}}$$



※稼働率が高いほど、利用人数が多い。つまり入院や退所によってベッドが空いた場合、利用者の迅速な受け入れができています。

清和園の目標

～力を入れてやることは～

目標と方針の共有

【キーワード】

● 稼働率向上(誰が何を?)

長期入所

ショートステイ ↔

デイサービス

・介護職員
・相談員
・施設長
・栄養士
・看護師
・ケアマネジャー
・デイサービス職員
・事務員

● 業務改善(効率化)

FileMaker(電子カルテ)の活用

ムダの排除

● 協業の工夫

情報の一元管理と共有化

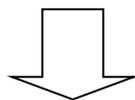
コミュニケーション

清和園の役割 = あらゆるニーズを満たす

- ・ 施設に入所したい
- ・ ショートステイを使いたい
- ・ デイサービスに通いたい

+

- ・ 家族からの相談
- ・ 医療機関、他施設からの受け入れ
- ・ 白糠町内の関係機関との調整



✓ ニーズを満たす = 稼働率向上へ



施設長が
全職員を対象
に説明！

清和園の特徴

1. 白糠町唯一の特養
2. 長期入所、ショートステイ、デイサービス
3. 各専門職による専門的ケア
4. 外部関係事業所との円滑な連携



強力なチームアプローチにより、
その人らしい、望まれる生活を、
亡くなる最後の時まで → **愛される施設へ**

専門性を活かした質の高いサービスを提供しなければならない

利用者に対して

- ・ 接遇、サービス向上
- ・ 排泄ケア、褥瘡予防
- ・ ICT介護ロボットの活用
- ・ 事故防止、虐待防止、身体拘束廃止
- ・ 看取り
- ・ 衛生
- ・ 感染対策

+

自分達のために

- **ベッド稼働率**
- **人間性の向上**
- **社会人としての成熟**

- ・ チームワーク
- ・ チームアプローチ

「稼働率向上」とは困っている人を助けること

- ・ 施設に入所したい(させたい)
- ・ ショートステイを使いたい(使わせたい)
- ・ デイサービスに通いたい(通わせたい)

白糠町民は断らないぞ！

コンセプト

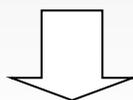
「清和園にして良かった」と感じてもらいたい

清和園のコンセプトに基づいて、多くの人にたくさん利用してもらおう。それが**第一の使命**。

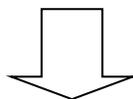
次に「**清和園にして良かった**」と感じてもらおう。その**結果**が**稼働率向上**へ繋がる。

稼働率向上への道のり

稼働率向上プロジェクト 開始期

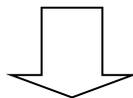


介護-看護-相談員ケアマネ 混乱期

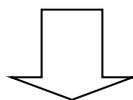


協業試行錯誤期

相談業務の改善



安定した稼働率と信頼される施設へ



稼働率を向上させなければならない・・・

わかっている！ でも・・・

「稼働率向上よりも職員が大変なんです！

職員を守らなければならないのです！」??



**施設長が説明した「目標の決定と方針の共有」
だけでは理解が難しかった・・・**

相談員、ケアマネの意見

- ・ 家族は困っているから利用したいのに、なんで断るの？
- ・ 施設の方針なのに、、、そもそも理解していないのかな？
- ・ 大変なのはわかるけど、、、もう少し利用者の事を考えてほしい

ショートステイに対する

介護職員の意見 

- ・ 介護に手間がかかる人ばかり利用する
- ・ 介護職員が足りない
- ・ 相談員が現場に来ない、現場のことを何も知らない
- ・ 1日の入退所数が多すぎる
- ・ 私達は一生懸命、介護しているのに！

看護師の意見 

- ・ 医療的な処置が多い人ばかり利用する
- ・ ここは病院じゃない
- ・ 発熱したらどうする？
- ・ 何かあったらどうする？
- ・ 医務室(看護師)に聞かれてもショートステイの人のことは知らない、わからない！

その結末、お互い歩み寄れず、冷戦状態へ

振り返り



なぜ？冷戦状態になったのか？

- ☑ 部署間、職種間、職員は目的・目標を共有していたか？
- ☑ 職員間のコミュニケーションは図れていたか？
- ☑ 他の職員を思いやる気持ち、歩み寄る姿勢はあったか？
- ☑ 部署間で業務の過不足を理解していたか？

相談主任

部下 業務

専門性

それぞれが、
それぞれの責任を持つ

介護主任

部下 業務

専門性

縦以上に横の連携が重要

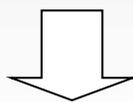
看護主任

部下 業務

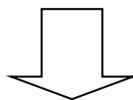
専門性

稼働率向上への道のり

稼働率向上プロジェクト 開始期

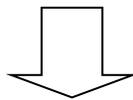


介護-看護-相談員ケアマネ 混乱期

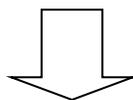


協業試行錯誤期

相談業務の改善



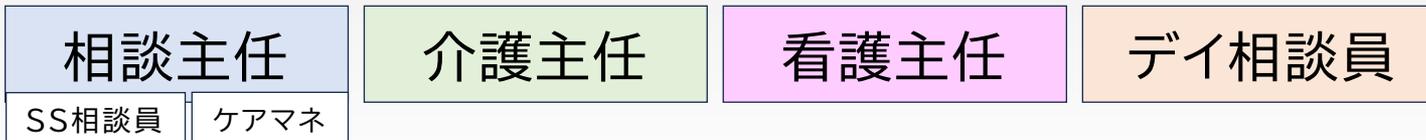
安定した稼働率と信頼される施設へ



協業のポイント

Keywordは・・・

「困っている人(職員)を**助ける**」「各部署の主任どうしの**横**連携」
「業務のコーディネート、**折衝力**」



4人が協業の中心となりチームとして機能することで
実業務の方針をほぼ決定できる！

- ☑ 協業する相手の専門性、業務内容を理解する
- ☑ 役割分担を明確にする
= 自分たちの専門性の確立
- ☑ 相手の事を考え、
その先を見据えた「情報の共有化」

協業する相手の専門性、業務内容を理解する

- 相手の専門性を引き出す関係作り
- それぞれの専門的知識を教えてもらう
- 短時間で頻回な情報交換の場を設定

役割分担を明確にする、専門性の確立

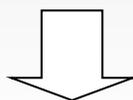
- 任せるところは任せて、大変なところを引き受ける
- 各専門職が介護現場にいる時間を増やし「マンパワー」になる
- リアルタイムで状況判断しお互いにカバーし合う気遣い

情報の共有化

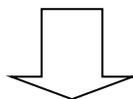
- 軒下カンファを積極的に展開する
- 記録を残し、さらに口頭で情報を伝える
- 先の先まで予測して動いてもらうための情報を伝える

稼働率向上への道のり

稼働率向上プロジェクト 開始期

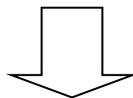


介護-看護-相談員ケアマネ 混乱期

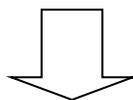


協業試行錯誤期

相談業務の改善



安定した稼働率と信頼される施設へ



稼働率を向上させるために

～ ショートステイをターゲットに ～

- 長期入所者専用居室、ショートステイ専用居室
に関わらず空いたベッドはショートステイで使用
(→いわゆる空床利用)

？
なぜならば？

- ・ ショートステイ利用までのスピード感
- ・ 人気があって利用希望者が多い施設へ
- ・ 様々なニーズの利用者を組み合わせることで
幅広い調整(ベッドコントロール)が可能となる

長期入所者退所から新規入所までの期間は
ショートステイ及びロングステイ※で調整

※ 長期間連続利用のショートステイ、ロングショートと言う場合もある

稼働率を向上させるために

時間と労力を要する入所判定

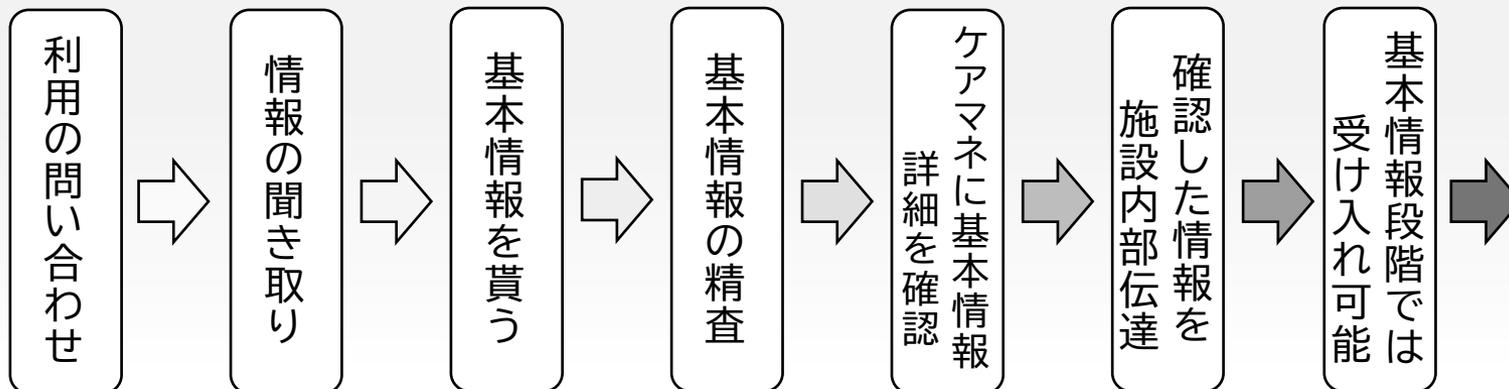
ムダを省いて簡素化(書面開催)

ニーズに合わせショートステイ
利用を提案

ショートステイ利用者のニーズを把握
→ 追加利用、延長利用を提案

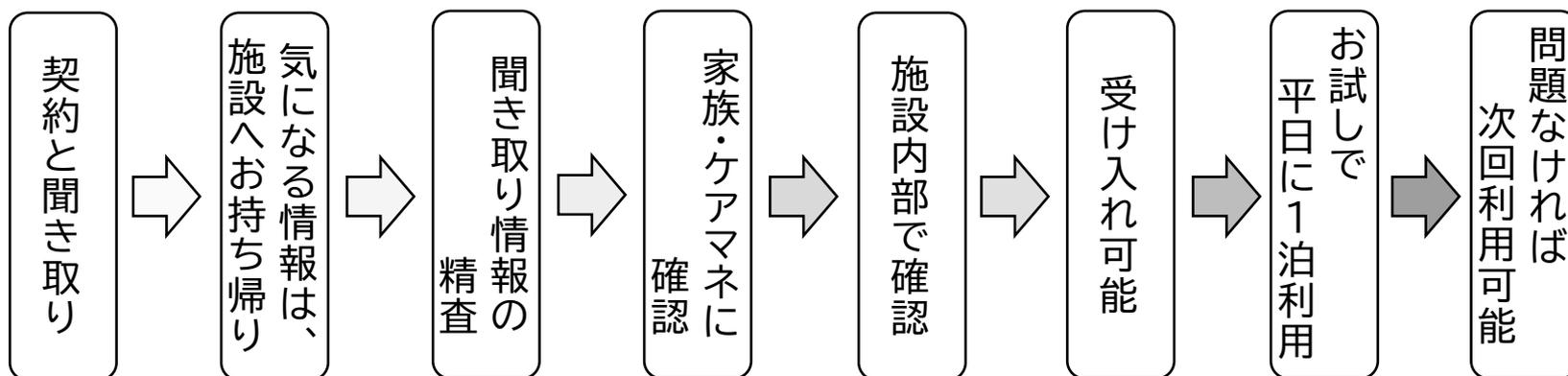
- ・ 利用までの手続きを簡素化
- ・ デイサービスはショートステイ利用を見越して調整
- ・ ショートステイは長期入所を見越して調整
- ・ 追加利用、延長利用、緊急利用の提案
- ・ 健全な根回し

利用まで時間と手間がかかる、 一度利用しても次回は利用できない可能性がある!?



● 居宅ケアマネの思い...

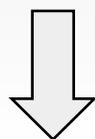
- ・ 不確定要素の高い施設の利用は不安...
- ・ 質問や要求が多くサービス調整が面倒...



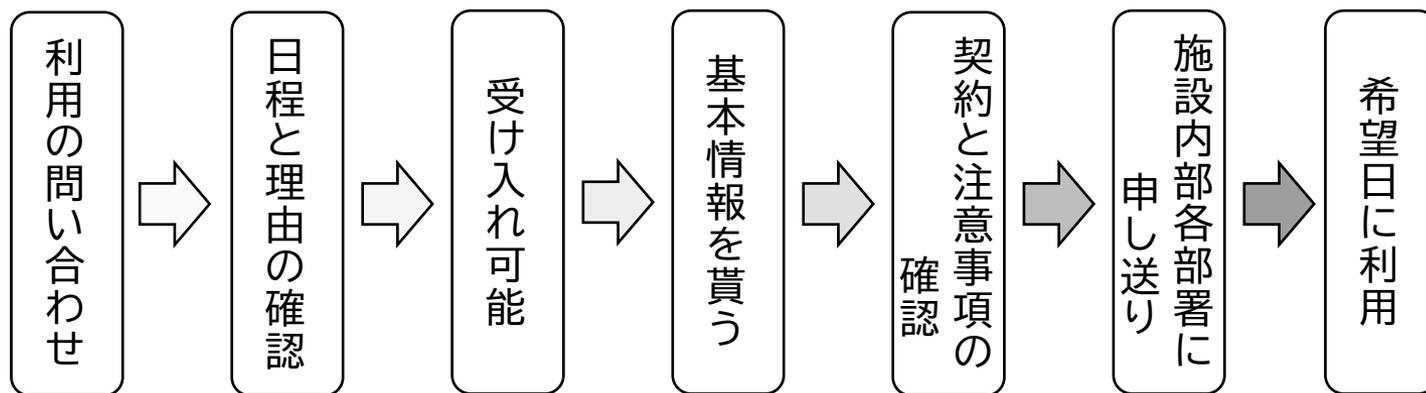
● 家族の思い... → 使えるかどうかすぐに知りたい...

稼働率の向上 = 利用者を増やす

- ① 利用するにあたっての**手続きを簡素化**する
- ② どのような方も**受け入れを前提**に話を進める



居宅ケアマネ、家族にとって**使いやすい施設**という印象へ



使いやすい施設をめざす

居宅ケアマネと家族にとって使いやすい施設とは・・・？

居宅ケアマネ

→ 家族が希望する日に利用できる
→ 利用者を受け入れしてくれる

家族

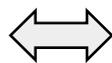
→ 希望する日に利用できる



これに尽きる

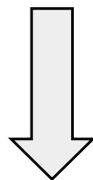
● 過度な情報収集をやめて

利用時に情報収集



● 家族にフィードバック

施設内部の各専門職が
自分の目で見ると
【リアルタイム評価】



家族と一緒に支援していく

受け入れた利用者に対して責任を持つ

安易に利用者を家に帰さない！

➡ 軽度な体調不良や不穏症状などがあっても、施設でできることは対応する



長期入所者と同様の体制で受け入れする！

家族、居宅ケアマネに「無理な」「面倒な」頼み事をしない

※状況に応じてだが…

- ・ 忘れ物があったら清和園が家まで取りに行く
- ・ なんでもかんでも居宅ケアマネにお願いしない、丸投げしない
- ・ 無理な薬の管理、病院受診を依頼しない
- ・ 緊急受け入れ時は利用者に清和園に来てもらうことを最優先

安定した稼働率と信頼される施設へ

デイ

清和園は1人の利用者に対して
デイサービス、ショートステイ、
そして入所まで一貫した支援ができる

併用

ショート

※町内の医師と連携し
ショートステイの看取り実績(4件)

認知症
病気の悪化
入浴目的
他者交流

徘徊
ADL低下
介護負担軽減

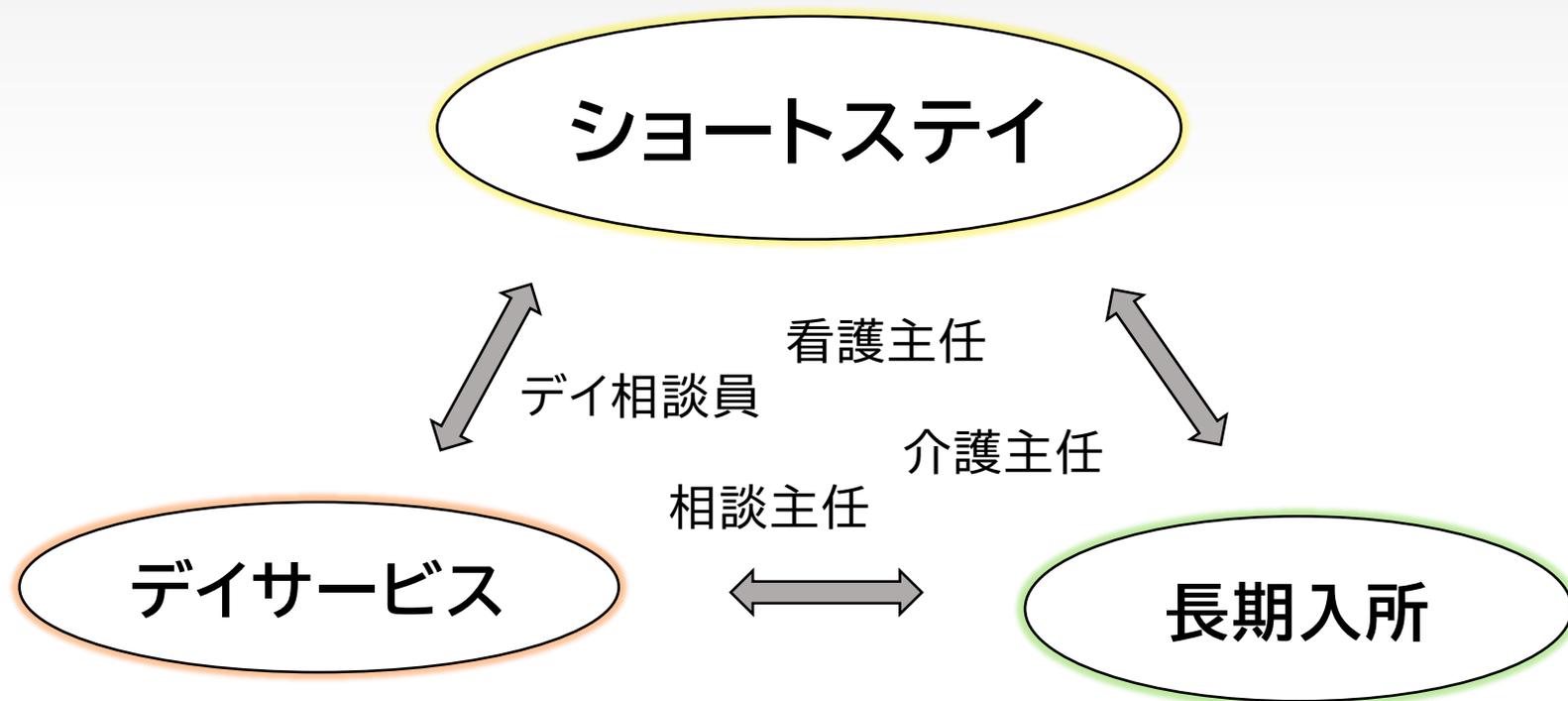
長期入所

骨折
長期入院
介護者不在

一つの部署に話をすると
清和園全体に伝わる体制

家族も居宅ケアマネも **清和園なら安心**

清和園の強みは、 ショートステイを中心とした施設内での情報共有



目標と方針が共有され、
日常的に各部署と情報連携ができています

まとめ



組織は同じ方向に向かって仕事をします。
個人の考え方で方針を変えてはいけません。
目標に向けて自律した行動をとることが重要です。

- ① 利用者受け入れは**スピード感**を意識
- ② 受け入れに向けた**努力**をする
- ③ **利用しやすい**(使い勝手が良い)施設へ
- ④ 利用者を**リアルタイム**で**評価**
- ⑤ 清和園全職員で**チームアプローチ**

ベッド稼働率に関する**意識の統一**

コンセプトを**全職員**で共有する

家族、居宅ケアマネへ**情報共有**

- ・ 居宅ケアマネを手伝う**第2支援者**でありたい
- ・ 介護を必要とする高齢者の世帯単位での困りごとを解決してあげたい
- ・ 必要に応じ、特養に不足する機能を他関係職と連携し支援したい(医療、地域の機能の調整)



これからも
稼働率維持、向上
に努め、たくさんの人に
愛される施設
を目指します！

ご清聴ありがとうございました！